

【シラバスⅠ】令和8年度 学習計画・学習評価計画書

教科名	芸術		科目名	書道Ⅰ		単位	2
学年	1	組	3、5、6、7		担当	吉木 佳尋	
教科書	書道Ⅰ(書Ⅰ704)教育出版						
目的と目標	書道の幅広い活動をととして、書に関する見方・考え方をはたらかせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。						
コンピテンシー	【知識】【表現力】【課題発見】【挑戦力】【感性】						
授業と学習について	1書道の学習はよく見ることが大切である。 2作者や時代背景など様々な事について考え、自ら分析する姿勢が必要である。 3臨書学習では、各古典の特徴を捉え、技法の取得をして自己表現へとつなげる。						

	単元・学習内容	知識 技能	思考 判断 表現	主体 学習 態度	補足事項
4月	書之美を求めて、書の世界へようこそ 用具・用材～文房四宝～ 姿勢・執筆、古典の学び方 書を生活の中に生かしてみよう	○ ○ ○	○	○ ○ ○	
5月	仮名の書の学習 仮名の成立、基本用筆 平仮名、変体仮名 連綿、散らし書き、硬筆の学習	○ ○ ○	○	○	
6月	漢字の書の学習 書体の変遷、拓本と碑について、拓本を採ってみよう 1 楷書の学習 2 唐の四大家	○ ○ ○	○	○	
7月	九成宮醴泉銘 孔子廟堂碑 <夏季休業>	○ ○	○ ○	○ ○	
8月	<夏季休業> 雁塔聖教序	○	○	○	
9月	顔氏家廟碑 3 北魏の書 牛欄造像記 鄭羲下碑	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	

	単元・学習内容	知識 技能	思考 判断 表現	主体 学習 態度	補足事項
10月	篆書の学習 泰山刻石 篆刻・刻字の学習 1 篆刻の学習 自用印の作成	○ ○	 ○	 ○	
11月	行書の学習 1 さまざまな行書 行書の特徴 2 王羲之と顔真卿の行書 蘭亭序 3 日本の行書 風信帖、三筆、三跡の書	○ ○ ○		○	
12月	隸書の学習 曹全碑、居延漢簡 草書の学習 書譜	○ ○		○ ○	
1月	漢字仮名交じりの書の学習 1 言葉を表現する 2 感動や思いを表現しよう 作品の表現意図を考える	○	○ ○	○ ○	
2月	名筆に学ぶ表現の工夫 用具・用材の工夫、全体構成の工夫 作品の完成(鑑賞会を行う) 3 漢字仮名交じりの書の表現と鑑賞	○		○	
3月	書道 I 学習のまとめ	○	○	○	

※育成するコンピテンシー 《○知識・技能 ●思考・判断・表現等 ◎主体的に学習に取り組む態度》

○理解する力 【知識】【情報】

○活用する力 【言語活用】【情報活用】

●伝える力 【説明力】【表現力】

●考える力 【論理的思考】【批判的思考】

●生み出す力 【企画力】【創造力】

●見つける力 【課題発見】【課題解決】

●協力する力 【協調力】【協働力】

◎自律する力 【自己認識】【計画管理】

◎やり抜く力 【責任感】【探究心】

◎導く力 【統率力】【挑戦力】

◎関係する力 【他社理解】【感性】